

## 眼に良いと評判の2大要素 ルテインとブルーベリーに関するセミナー開催 ～ 9月17日(水) ワイルドブルーベリー・シンポジウムにて ～

ブルーベリーといえば「眼に良い」フルーツとして知られていますが、このブルーベリーと同じく「眼」がキーワードとなる栄養素に「ルテイン」があります。ルテインとは、ホウレンソウやブロッコリーなど緑色葉菜に多く含まれるカロテノイドの一種で、人間の体内器官や皮膚にも存在し、近年の研究によって眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として注目されるようになってきました。なかでも、眼の水晶体や黄斑部に存在するルテインは、光による酸化ダメージから眼を守っており、欠如すると白内障や加齢黄斑変性(AMD)などの眼病の要因になる事が確認されています。

体内で合成する事ができないルテインは、食品を通してのみ摂取することができます。米国ケミンフーズ社ではマリーゴールドの花から抽出・精製した FloraGLO®ルテインを製品化しています。日本でも既に 33 社を超える企業がこのルテインを配合した栄養補助食品を製造・販売していますが、中にはルテインと共にブルーベリーを配合している栄養補助食品も多く見られます。

ルテインとブルーベリーがいずれも眼の健康維持に大きな役割を果たすことから、ケミン・ジャパン(株)(東京都港区)では、9月17日にカナダ大使館で開催される「ワイルドブルーベリー・シンポジウム」に参加。ルテインとブルーベリーの健康機能について知ってもらうため、葉山隆一氏(葉山眼科クリニック院長)を招いて、「ルテインとブルーベリーの相乗効果」と題する講演を行います。葉山氏は臨床医としてルテインとブルーベリーを用いた治療を実践、「目の病気にルテインが効く！」(現代書林)や「ブルーベリーは本当に眼に効く」(同)などの著書を出版しており、これまで治療法がないと言われていたAMDの症状の改善例など、氏が地域医療を通して実証してきたルテインとブルーベリーが眼に与える働きについて興味深い講演を行う予定です。

### 第3回 ワイルドブルーベリー・シンポジウム

日時: 9月17日(水) 13:30~16:30  
場所: カナダ大使館地下2階シアター (東京都港区赤坂4-3-38)  
講演: ウィルヘルミナ・カルト博士 「ワイルドブルーベリーの健康効果」  
葉山隆一先生 「ルテインとブルーベリーの相乗効果」  
主催: 北米ワイルドブルーベリー協会  
協賛: ケミン・ジャパン株式会社

このシンポジウムは、北米ワイルドブルーベリー協会が主催する「ワイルドブルーベリー・ウィーク」(9月15日~21日)の一環として行われるもので、ワイルドブルーベリー研究の第一人者であるウィルヘルミナ・カルト博士による最新の研究報告も同時に予定されています。ワイルドブルーベリー・ウィークについての詳細は <http://www.wildblueberry.jp/week/> にてご覧いただけます。

### **葉山 隆一氏**（葉山眼科クリニック院長）

新潟大学医学部卒業。同大学医局における研究生活や大学付属病院の医長を務めた後、米国に 2 年留学、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学などにおいて磁気、免疫病理など最先端の技術を学ぶ。帰国後は眼科専門医に特化し、愛和病院(埼玉県)副院長を経て、平成元年葉山眼科クリニックを開院、臨床医として地域医療に専心する傍ら、現在もハーバード大学研究員として学究に励み、情報収集に努めている。著書に「目の病気にルテインが効く」(現代書林)、「ブルーベリーは本当に目にきく！」(現代書林)、「強度近視、黄斑変性症は治せる」(マキノ出版)等。

### **ウィルヘルミナ・カルト博士** (Wilhelmina Kalt. Ph.D.)

ノース・キャロライナ州 セント・アンドリュース・カレッジにおいて優秀な成績で生物学の学位を取得後、ノース・キャロライナ州立大学 植物物理学の M.S.及び Ph.D.を取得。

米国園芸科学協会、カナダ食品化学・技術協会、米国植物科学協会、健康機能性食品申請証拠基準カナダ健康専門家諮問委員会のメンバー。

### **ルテインと「FloraGLO®(フローラグロー)ルテイン」について**

「ルテイン」とは、脂溶性抗酸化物質であるカロテノイドの一種で、ホウレンソウやブロッコリーなど緑色葉菜に多く含まれる成分です。近年の研究により、人間の眼の黄斑部と水晶体に存在するカロテノイドはルテインとその関連物質であるゼアキサンチンだけであることがわかり、ルテインは眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として大きな注目を集めています。

ケミンフーズ社では、独自の特許製法を用いてこのルテインをマリーゴールド(*tagetes erecta*)から抽出・精製することに成功、「FloraGLO®ルテイン」として製品化しています。自然界に存在する天然のルテインと同じ成分を製品化したことは米国の独立した第三者機関によって高く評価され、FloraGLO®ルテインは GRAS(一般に安全とみなされる)物質であると認められています。同社では、日本、米国、カナダ、EU など世界 13 カ国・地域で製法特許を取得しており、すでに 120 種類以上のビタミン剤やサプリメントといった栄養補助食品、食品、パーソナルケア商品などに FloraGLO®ルテインが利用されています。現在日本でも 33 社以上がこの FloraGLO®ルテインを製品に採用しています。

ルテインに関する詳細は「ルテイン情報局」日本語版ウェブサイト <http://www.luteininfo.jp> をご参照ください。

### **ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について**

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界 60 カ国以上で事業を展開しているケミンググループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社はアジア地域における拠点として 2000 年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである(株)光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。